

2025年6月25日

～運転士の目の疲労軽減をサポート～

保護メガネ（偏光レンズ）を本格導入

近鉄は、2024年8月1日（木）から乗務中の運転士を対象に、太陽光や反射光の影響による視認性向上、眼精疲労やストレスの軽減、眼病予防を目的に、保護メガネ（偏光レンズ）の試験着用を実施してきました。

この度、試験着用により一定の効果が確認できたため、2025年7月1日（火）以降、全運転士を対象に保護メガネを本格導入します。

今後も安全な列車運行に努めるとともに、社員の健康保持・増進に向けた施策を積極的かつ継続的に取り組んでまいります。

詳細は以下のとおりです。

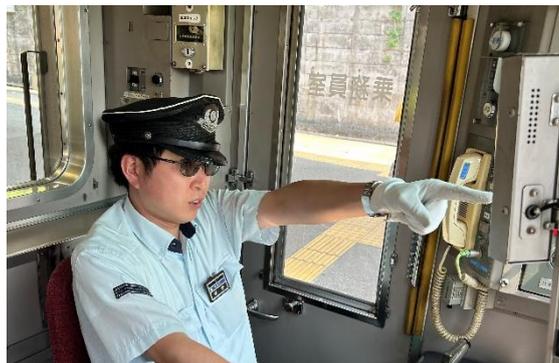
1. 導入時期 2025年7月1日（火）以降、順次導入
2. 対象路線 全線（ケーブル線を除く）
※地下線およびトンネル内でも着用することがあります。
3. 対象者 全運転士（約1,300名）
4. 導入効果
(1) 偏光レンズを使用することで反射光を除去し視認性が向上
(2) 反射光のカットによる眼精疲労とストレスの軽減
(3) 紫外線カット機能による眼の紫外線被曝の大幅な軽減と眼病予防
5. その他 お客様対応時やホーム歩行時、列車待避時等には保護メガネを外すか、レンズを跳ね上げて使用します。
6. 使用する保護メガネ（偏光レンズ）
メーカー：SWANS/山本光学株式会社（本社/東大阪市）



フリップアップ
(跳ね上げ式タイプ)



クリップオン
(メガネの上に着用するタイプ)



保護メガネ着用時の様子

(以上)